

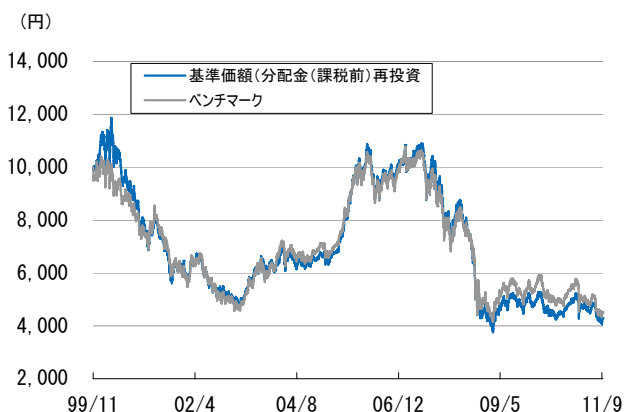
投資対象

アライアンス・バーンスタイン・日本グロース株マザーファンドへの投資を通じて、わが国の株式を中心に投資します。

基準価額の推移と運用実績

基準価額の推移

(1万口当たり)



※ベンチマーク: TOPIX(東証株価指数)

※上記のグラフ中の基準価額(分配金(課税前)再投資)およびその騰落率は、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮していませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。また、データは過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※グラフに表示しているベンチマークは、当ファンドの当初設定日(1999年11月30日)前日の値を10,000として指数化しています。

信託期間/決算日

信託期間	無期限	決算日	原則 毎年11月30日*
------	-----	-----	--------------

\* 決算日が休業日の場合は翌営業日

基準価額/純資産総額

基準価額	4,287円	純資産総額	2億13百万円
------	--------	-------	---------

分配実績

1万口当たり、課税前

決算期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
	2005/11/30	2006/11/30	2007/11/30	2008/12/1	2009/11/30	2010/11/30
分配金(円)	0円	0円	0円	0円	0円	0円

\*運用状況によっては分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額(分配金(課税前)再投資)騰落率

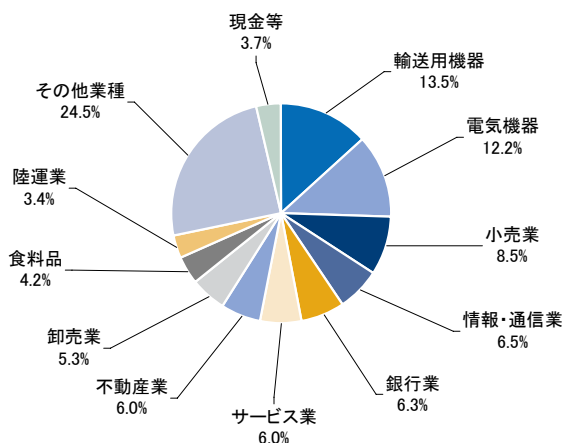
	1か月間	3か月間	6か月間	1年間	3年間	当初設定来*
ファンド	-1.9%	-9.2%	-11.4%	-3.5%	-32.8%	-57.1%
ベンチマーク	-1.2%	-10.4%	-12.4%	-8.2%	-30.0%	-54.9%

\*当初設定日: 1999年11月30日

マザーファンドのポートフォリオの状況

※組入比率は、全て対純資産総額の比率です。

セクター別配分



※セクター別配分は、東証33業種分類で区分しています。

資産配分

株式等	96.3%
(内訳) 国内株式	96.3%
外国株式	-
現金その他	3.7%

組入上位10銘柄

(銘柄数: 50 銘柄)

順位	銘柄名	セクター	比率
1	ファナック	電気機器	4.2%
2	日産自動車	輸送用機器	4.1%
3	キャノン	電気機器	3.9%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.7%
5	三井不動産	不動産業	3.6%
6	東レ	繊維製品	3.4%
7	ダイハツ工業	輸送用機器	3.4%
8	トヨタ自動車	輸送用機器	3.2%
9	日本たばこ産業	食料品	3.1%
10	ファミリーマート	小売業	3.1%
(組入上位10銘柄計)			35.7%

※小数点第2位以下を四捨五入しています。

※上記銘柄は、当ファンドの運用内容の説明のためのものであり、アライアンス・バーンスタイン株式会社が推奨または取得のお申込みの勧誘を行うものではありません。

■ 設定・運用は



アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

【加入協会】社団法人投資信託協会/社団法人日本証券投資顧問業協会

## ファンドの特色

- 1 当ファンドは、アライアンス・バーンスタイン・日本グロース株マザーファンド受益証券を主要対象とし、信託財産の中長期的な安定成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。
    - マザーファンドは、わが国の株式を中心に投資し、信託財産の中長期的な安定成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします
    - 高い成長が期待できる大型優良成長株を中心に、妥当な株価水準で投資することを重視します。
  - 2 TOPIX(東証株価指数)をベンチマークとします。
    - 当ファンドは、TOPIXとの連動をめざすものではありません。またTOPIXを上回る運用成果を保証するものではありません。なお、ベンチマークは今後見直す場合があります。
  - 3 ボトム・アップ・アプローチをベースとしたアクティブ運用を行います。
    - 社内アナリストの調査・分析を重視する「ボトム・アップ・アプローチ」を基本としています。
    - アナリストとポートフォリオ・マネジャーとの綿密な意見交換を通して、最終的な銘柄選択を行います。
- ※市場動向、投資対象国の状況、資金動向等によっては、運用の基本方針にしたがって運用できない場合があります。

## リスクについて

当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動きにより基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

### 基準価額の変動要因

#### 株価変動リスク

経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響で株価が変動し、損失を被るリスクがあります。

#### 信用リスク

投資対象金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被るリスクがあります。  
また、金融商品等の取引相手方に債務不履行が生じた場合等には、損失を被るリスクがあります。

#### 流動性リスク

市場規模や取引量が限られる場合などに、機動的に金融商品等の取引ができない可能性があり、結果として損失を被るリスクがあります。

#### 他のベビーファンドの設定・解約等に伴う基準価額変動のリスク

当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象とする他のベビーファンドでの設定・解約等に伴うマザーファンドでの組入金融商品等の売買等が生じた場合、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

※上記の他に「一部解約による当ファンドの資金流出に伴う基準価額変動のリスク」、「インデックスの下落に伴うリスク」等があります。ファンドのリスクは上記に限定されるものではありません。

※市場動向、投資対象国の状況、資金動向等によっては、運用の基本方針にしたがって運用できない場合があります。

## ご留意事項

当ファンドは預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。当ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社において投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受取りになり、記載事項をご確認の上、投資の最終決定はご自身でご判断下さい。

- 当資料は情報の提供を目的としてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した販売用資料です。
- 当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に対する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。
- 当資料に記載された意見・見通しは作成時点でのアライアンス・バーンスタイン株式会社の判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。

## お申込みメモ

購入単位	「一般コース」1万口以上1万口単位 「自動けいぞく投資コース」1万円以上1円単位 ※詳しくは、販売会社へお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額とします。
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	「一般コース」1万口単位 「自動けいぞく投資コース」1口単位 ※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金	原則、換金申込受付日から起算して4営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則、午後3時までに、販売会社が受け付けを完了したものを当日のお申込み分とします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金 申込受付の 中止及び取消し	証券取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金のお申込みの受け付けを中止することがあります。
信託期間	無期限です。(信託設定日:平成11年11月30日)
繰上償還	次のいずれかの場合は、信託を終了(繰上償還)する場合があります。 信託元本が30億円を下回ったとき/受益者のため有利であると認めるとき/やむを得ない事情が発生したとき
決算日	原則、11月30日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	原則、年1回の毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※「自動けいぞく投資コース」の場合、収益分配金は税引後再投資されます。
課税関係	個人の場合、原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。

## お客様にご負担いただく費用

お客様には下記の費用の合計額をご負担いただきます。なお、下記の費用は、お客様が当ファンドを保有される期間等に応じて異なるものが含まれているため、合計額を表示することができません。

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額と購入口数を乗じて得た金額に、販売会社が別に定める購入時手数料率(以下の表の手数料率を上限とします。)を乗じて得た額とします。
	購入申込口数 購入時手数料率
	1億口未満 3.15% (税抜3.00%)
	1億口以上 1.575% (税抜1.50%)
信託財産留保額	ありません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して年1.8165% (税抜年1.73%)の率を乗じて得た額とします。 <運用管理費用の配分> (委託会社)年0.8925% (税抜年0.85%) マザーファンドの投資顧問会社の報酬は、委託会社の受取る報酬の中から支払われます。 (販売会社)年0.84% (税抜年0.80%) (受託会社)年0.084% (税抜年0.08%) ※当ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支払われます。
------------------	--

その他の 費用・手数料	監査報酬/信託事務の処理に要する諸費用/金融商品等の売買時の売買委託手数料/信託財産に関する租税等 ※投資者の皆様は保有期間中その都度かかります。なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示できません。
----------------	--

## ファンドの主な関係法人

委託会社	アライアンス・バーンスタイン株式会社 <a href="http://www.alliancebernstein.co.jp">www.alliancebernstein.co.jp</a> 信託財産の運用指図、目論見書・運用報告書の作成等を行います。
マザーファンドの 投資顧問会社	アライアンス・バーンスタイン・リミテッド、アライアンス・バーンスタイン・香港・リミテッド マザーファンドの信託財産の運用の一部の指図(除く国内余剰資金の運用の指図)を行います。 (注)委託会社が自ら運用を行う場合もあります。
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社 信託財産の管理業務等を行います。 (再信託受託会社:日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

- 当資料は情報の提供を目的としてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した販売用資料です。
- 当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に対する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。
- 当資料に記載された意見・見通しは作成時点でのアライアンス・バーンスタイン株式会社の判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。

## 販売会社

販売会社は、受益権の募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求の受付け、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金、一部解約金の支払いの取扱い等を行います。

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	●		●
コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	●	●	●
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	●		
中央三井信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第21号	●		
日産センチュリー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	●		●
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	●		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	●		●

(50音順)

※PWM日本証券株式会社は、定時定額で既にご購入いただいているお客様を除く、新規の受益権募集・販売の取り扱いを停止しています。